

## 『北阪昌人のラジオドラマ脚本入門セミナー』 レジюме

### 4, S Eのルール

(テキスト P 3 5 ~ P 5 5)

「S Eの3つのルール」

ラジオドラマの構成要素、S E (音響効果)。

3つのルールがあります。

① 簡潔にわかりやすく・・・これは、まずS Eには、音に関する情報だけを入れて

ておくということです。S E 雨 とだけ書けばいいのに、主人公・太郎はず

ぶ濡れでとぼとぼ歩く、などと書いても、うまく音で表現できません。また、

こんなふう書き込んでしまうと、リスナーに伝えた気持ちになってしまう危

険性があります。

② 音は、基本、先行しているほうがいい。・・・ゴロゴロ～と雷が鳴ってから、

「雷が鳴った」というセリフが入るのはいいのですが、「雷が鳴った」のあと

に音が入ると説明的で、リスナーは世界に入っていけません。

③ S Eに頼りすぎない・・・S E 喫茶店と書いて、安心しないでください。リ

スナーをちゃんと喫茶店にいざなうためには、セリフでの補完が必要です。

また、S Eには、叙事音か叙情音があることも覚えておきましょう。